

伊集院保健所感染症情報

2025年第27週（令和7年6月30日～令和7年7月6日）

【お問い合わせ先】 〒899-2501 鹿児島県日置市伊集院町下谷口 1960-1 鹿児島地域振興局保健福祉環境部（伊集院保健所）

TEL (099) 273-2332 / FAX (099) 272-5674 / E-mail kago-kenko-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

鹿児島地域振興局 URL <http://www.pref.kagoshima.jp/ak01/chiki/kagoshima/index.html>

● 定点把握感染症

管内流行発生警報発令！！：ヘルパンギーナ

管内流行発生警報発令中：咽頭結膜熱，A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点医療機関【インフルエンザCOVID2，小児科1，基幹定点1，ARI2】

疾患名	警報基準値		注意報	伊集院保健所管内					県	
	開始	終息	基準値	第24週	第25週	第26週	第27週	先週からの増減	第26週	前週からの増減
ARI（急性呼吸器感染症）	—	—	—	110.00	133.50	134.00	159.00	↗	58.86	↘
インフルエンザ	30	10	10	0.00	0.00	0.50	0.00	↘	0.81	↗
COVID-19	—	—	—	1.50	1.50	3.50	4.00	↗	1.89	↗
咽頭結膜熱	3	1	—	1.00	3.00	3.00	3.00	→	1.48	↗
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	—	10.00	6.00	4.00	6.00	↗	1.97	↘
感染性胃腸炎	20	12	—	1.00	2.00	1.00	0.00	↘	6.61	↗
水痘	2	1	1	1.00	3.00	0.00	0.00	→	0.26	↘
手足口病	5	2	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.29	↗
伝染性紅斑	2	1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.55	↘
突発性発しん	—	—	—	0.00	4.00	1.00	1.00	→	0.55	↘
ヘルパンギーナ	6	2	—	0.00	1.00	4.00	6.00	↗	1.06	↗
流行性耳下腺炎	6	2	3	1.00	0.00	0.00	0.00	→	0.03	↘
RSウイルス感染症	—	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.48	↗
全数報告（かっこ内は本年の累積数）			百日咳4（24）							
※警報域			：太文字で赤色の塗りつぶし，							
			注意報域							
			：太文字で黄色の塗りつぶし							

● TOPIC 7月28日(月)から8月3日(日)は「肝臓週間」です。

我が国では、B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルス感染に起因する肝炎患者が、肝炎に罹患した者の多くを占めています。

肝炎ウイルスに感染していても、検査をできるだけ早く受けて感染を知り、医療機関で適切な治療を受けることで肝硬変や肝がんといった深刻な症状に進行することを防ぐことができます。

ウイルス性肝炎についての正しい知識を得て、早期発見・早期治療に結びつけましょう。

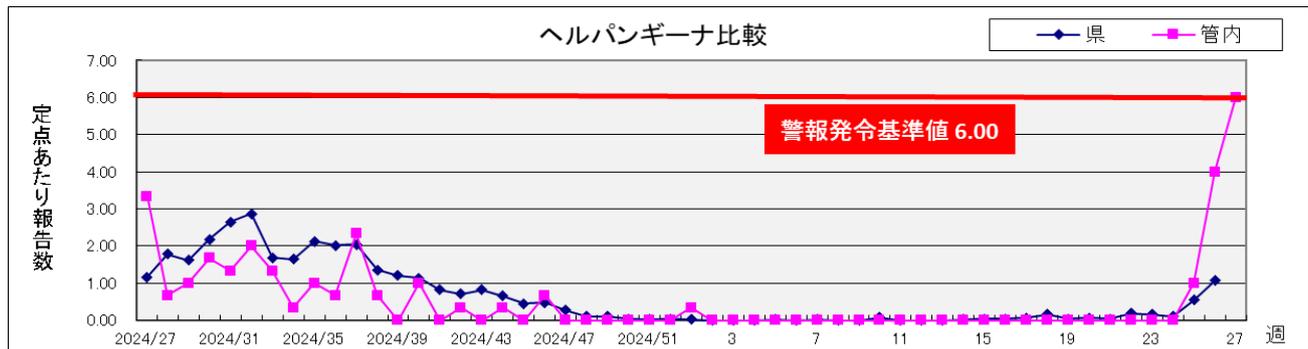
伊集院保健所では、次の日程で「夜間肝炎検査」を実施します。検査は原則無料、匿名で受けられます。

7月25日(金) 午後5時までに予約が必要です。プライバシーは保護されていますので、安心して受けられます。

検査実施日：令和7年7月28日(月) 午後5時～7時
 予約TEL 伊集院保健所 099-273-2332

● 注意すべき感染症

・ヘルパンギーナ（流行警報発令）



第27週の伊集院保健所管内におけるヘルパンギーナの報告数は、6人でした。年齢別では、2歳(3人)、1歳・3歳・4歳(各1人)でした。

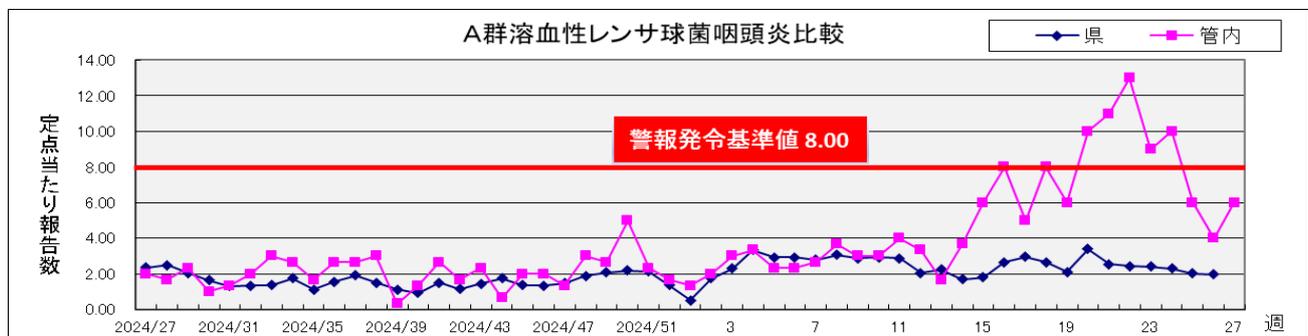
ヘルパンギーナは、発熱とともに、のどに痛みと水疱が現れる「夏かぜ」の一種です。

感染症発生動向調査によると、乳幼児を中心に5歳以下が全体の90%以上を占めます。病気の原因となるウイルスは、主にエンテロウイルス属のコクサッキーウイルスA群です。

主な症状は、感染してから2～4日後に、突然の発熱に続いて、のどに痛みと水疱が現れます。発熱は1～3日続き、食欲不振、全身のだるさ、頭痛などを起こします。一般的に経過は良好で、2～3日以内に回復します。しかし、合併症として、熱性けいれん、脱水症、小児ではまれに髄膜炎や心筋炎などの注意が必要です。

ヘルパンギーナは、発症後2～4週間頃まで便からウイルスが排せつされるため、発症した乳幼児のおむつ交換を行う時は、排せつ物を適切に処理し、流水と石けんでしっかりと手洗いをしてください。また、咳やくしゃみをする際は、マスクを着用したり、ティッシュで口を覆うなどの咳エチケットを心がけましょう。

・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（流行発生警報発令中）



第27週の伊集院保健所管内におけるA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告数は、6人でした。年齢別では、1歳・3歳・4歳・7歳・9歳・10～14歳(各1人)の報告でした。

感染すると、2～5日の潜伏期間を経て、突然の発熱や全身倦怠感、咽頭痛で発症し、舌が莓のように赤くザラザラとした状態になることもあります。

患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれる細菌を吸い込むことによる「飛沫感染」、あるいは、細菌が付着した手で口や鼻に触れることによる「接触感染」が主な感染経路です。

患者と濃厚接触を避け、手洗い、咳エチケットなどの一般的な予防法を励行しましょう。

○学校における感染症による出席停止の状況6/30～7/6（出典：学校等欠席者・感染症情報システム）

今週の出席停止は、水痘が1人、感染性胃腸炎が1人、溶連菌感染症が1人、マイコプラズマ感染症が10人、COVID-19が3人報告されています。

自治体名	疾患名	水痘(みずぼうそう)	感染性胃腸炎	溶連菌感染症	マイコプラズマ感染症	新型コロナ感染症
日置市		0	0	1	6	1
いちき串木野市		1	1	0	4	2
三島村		0	0	0	0	0
十島村		0	0	0	0	0
計		1	1	1	10	3